

# 伊豆中央道・修善寺道路 合併採算制導入後の交通状況



平成27年3月11日

# 1. 概要 ～合併採算制の導入～

## ○合併採算制の導入(平成26年4月1日)

- ・伊豆中央道と修善寺道路に合併採算制を導入して経営の一体化を図り、修善寺道路の無料化時期を早め、平成30年代半ばには、沼津から下田まで**有料区間のない利用しやすい一連の道路を構築**

(関連する取組)

## ○地域に配慮した料金施策

- ・両道路の料金体系を統一し、**最大で5割引となる共通回数券**の発売による地域利用者の利便性向上
- ・普通車なら通行1回あたり**200円→100円**に

**① 料金の統一化**

- ・伊豆中央道の大型バスの料金が安くなります！  
 (例) 大型バス(特次車) 730円 → 570円
- ・その他にも、修善寺道路の中型車が安くなるほか、2道路の料金が同一となって分かりやすくなります。

**② 通し券の導入**

- ・料金のお支払いが一回で済むようになります！  
 両方の道路を同時に利用する場合は、お車庫がはじめての料金所で2道路分の料金を一括でお支払いいただいた後、検印券と通し券を受け取り、次の料金所で通し券をお渡しいただくだけでご利用いただける仕組みを導入します。

**③ 回数券の共通化**

- ・回数券がどちらの道路でも使用できます！  
 共通回数券を導入し、それぞれの道路で期間を延長します。

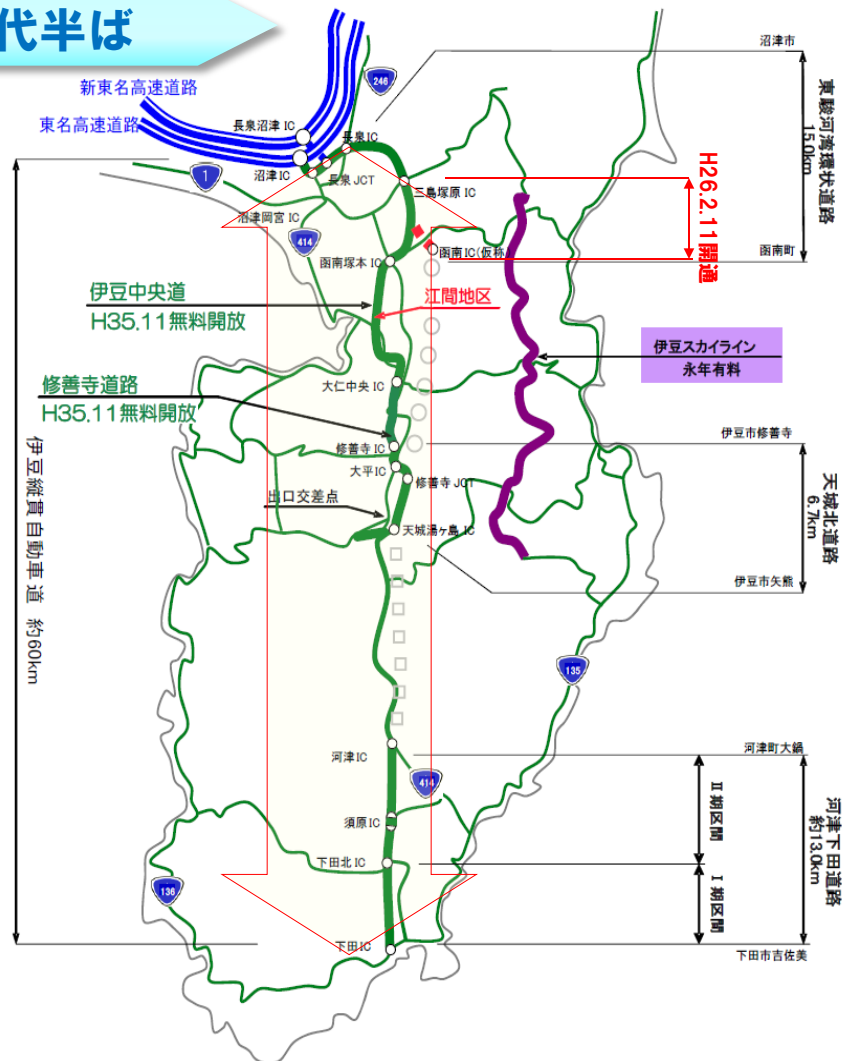
**④ 割引率の拡大**

- ・回数券が最大5割引になります！  
 これまでは最大3割引でしたが、新たに2割引回数券(100)の発売を開始します。

## ○伊豆中央道 江間地区の改築

- ・東駿河湾環状道路との接続による交通量の増加に対応するため、**江間地区の改築(平面交差点の立体化・フルIC化)**を実施して、交通事故を抑制し、渋滞を解消

平成30年代半ば

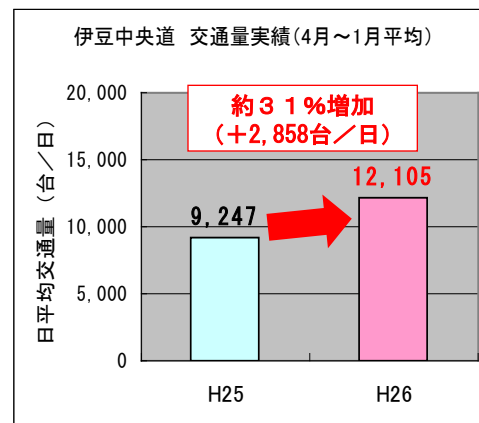
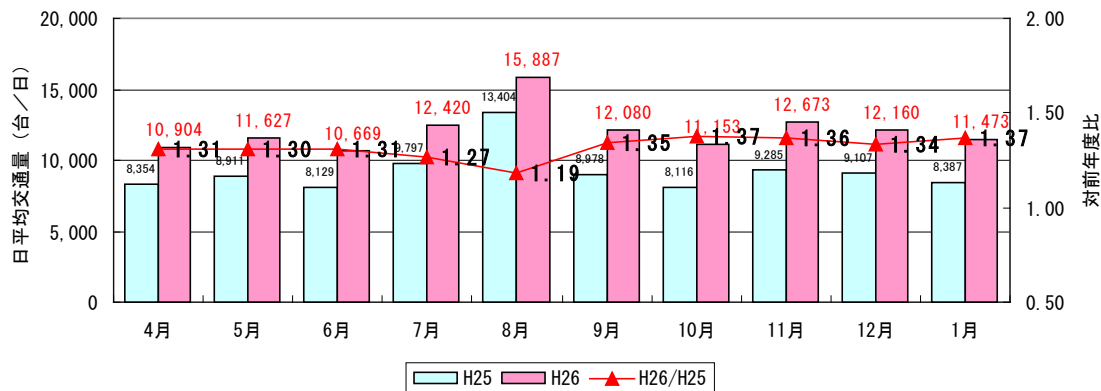


## 2. 交通状況 ～合併採算制導入後の交通状況～

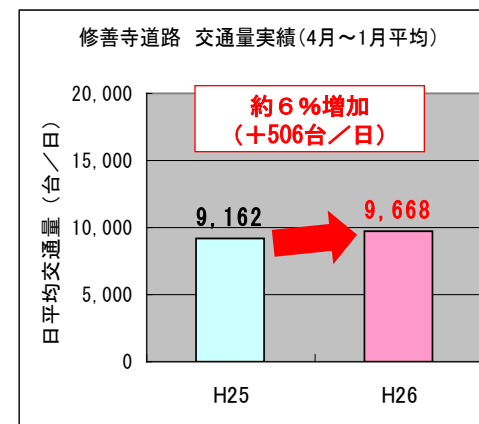
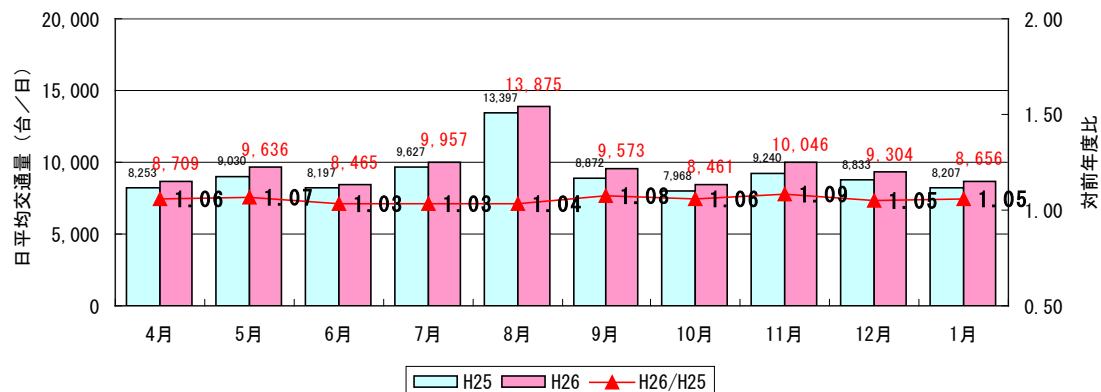
○ 東駿河湾環状道路の開通効果もあり、伊豆中央道の交通量は、昨年同時期との比較で約3割増加、修善寺道路の交通量は、同じく1割弱の増加。

### ■ 合併採算制導入前後の交通量推移（日平均交通量）

伊豆中央道 交通量実績



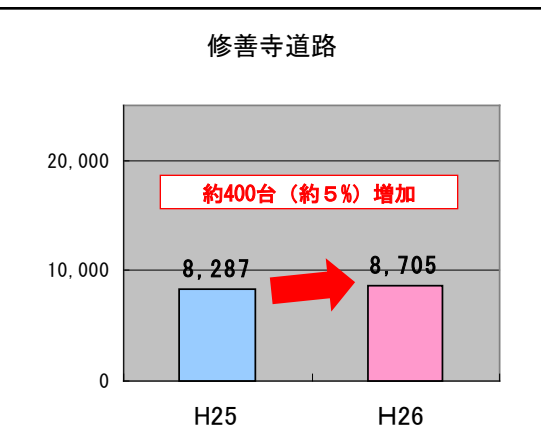
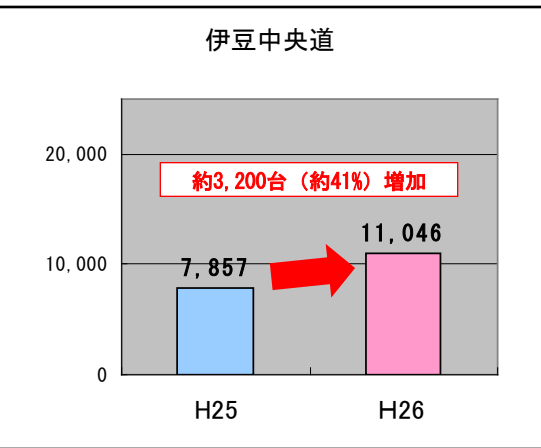
修善寺道路 交通量実績



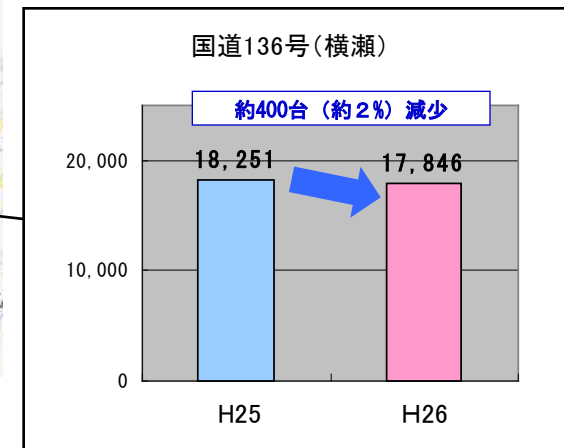
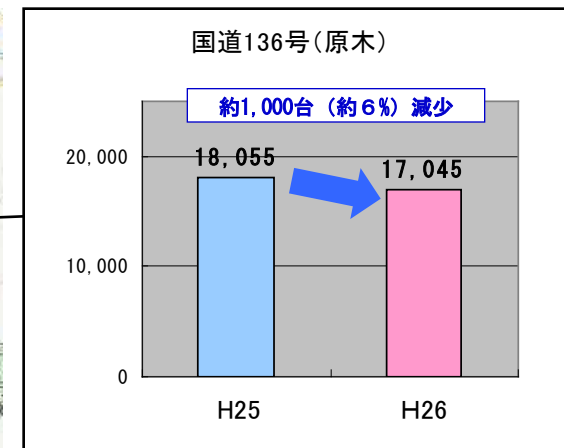
## 2. 交通状況 ～合併採算制導入後の交通状況～

- 国道136号現道の12時間平均交通量は、伊豆の国市原木地内で約1,000台減少、伊豆市横瀬地内で約400台減少し、現道の交通改善に寄与している。
- 交通量減少は、東駿河湾環状道路開通と5割引回数券導入効果と推測する。

### ■合併採算制導入前後の交通量推移（台／12時間）〔11月平均〕



※導入前:平成25年11月2日～11月17日、導入後:平成26年11月1日～11月16日、それぞれの平日12時間交通量(7:00～19:00の平均値を使用(交通状況が安定してきた時期で比較検証))

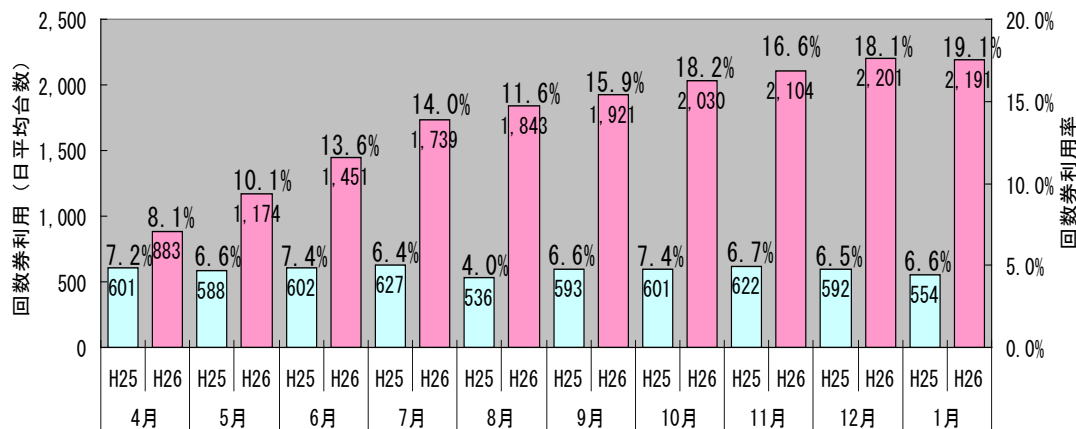




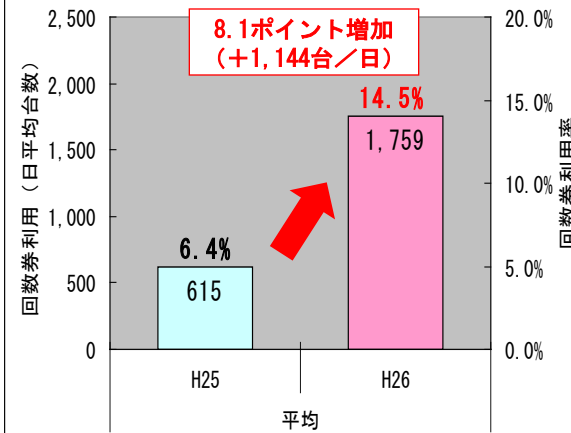
# 3. 回数券の利用状況

○ 両道路ともに、回数券利用台数と利用率が増加し、アンケート結果では回数券購入者の満足度が高く、西伊豆地域の地元利用者から好評を得るなど、地域の方が利用しやすい料金施策導入の効果が現れている。

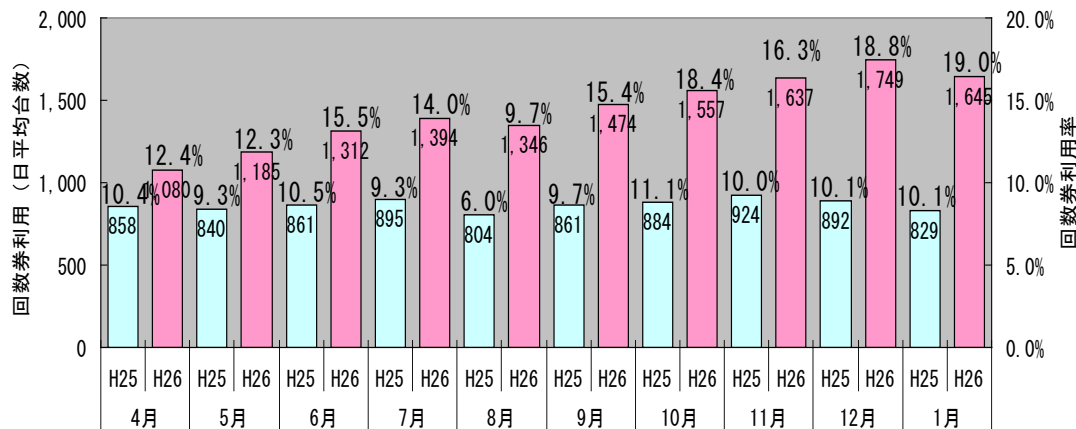
伊豆中央道 回数券利用状況



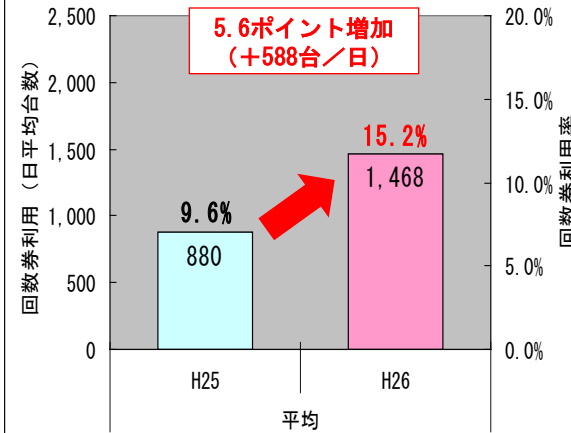
伊豆中央道 回数券利用状況 (4月~1月平均)



修善寺道路 回数券利用状況



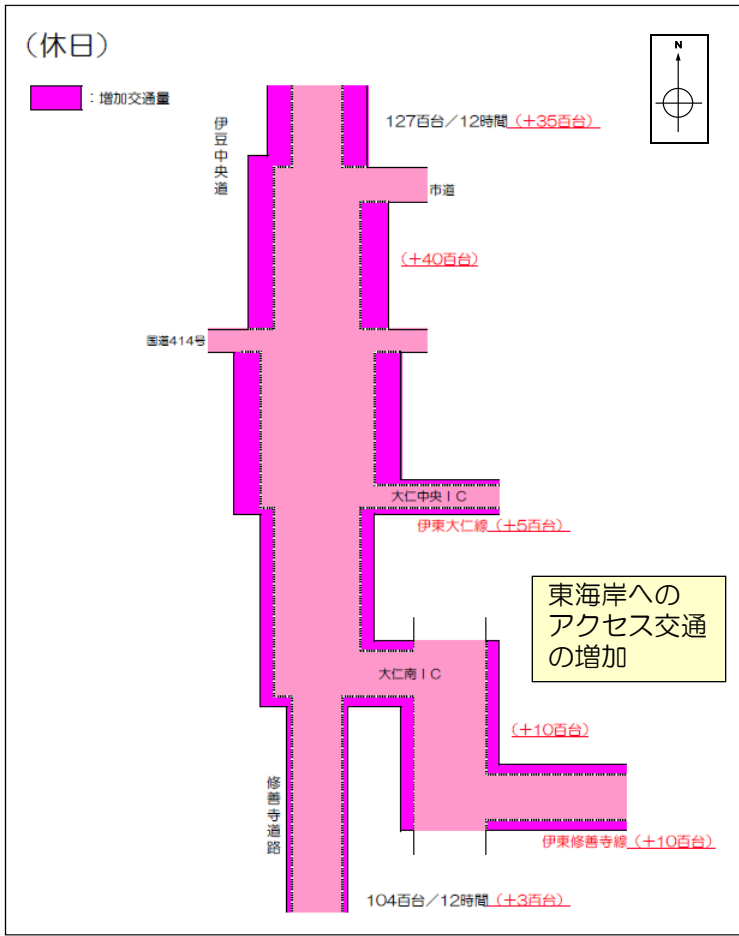
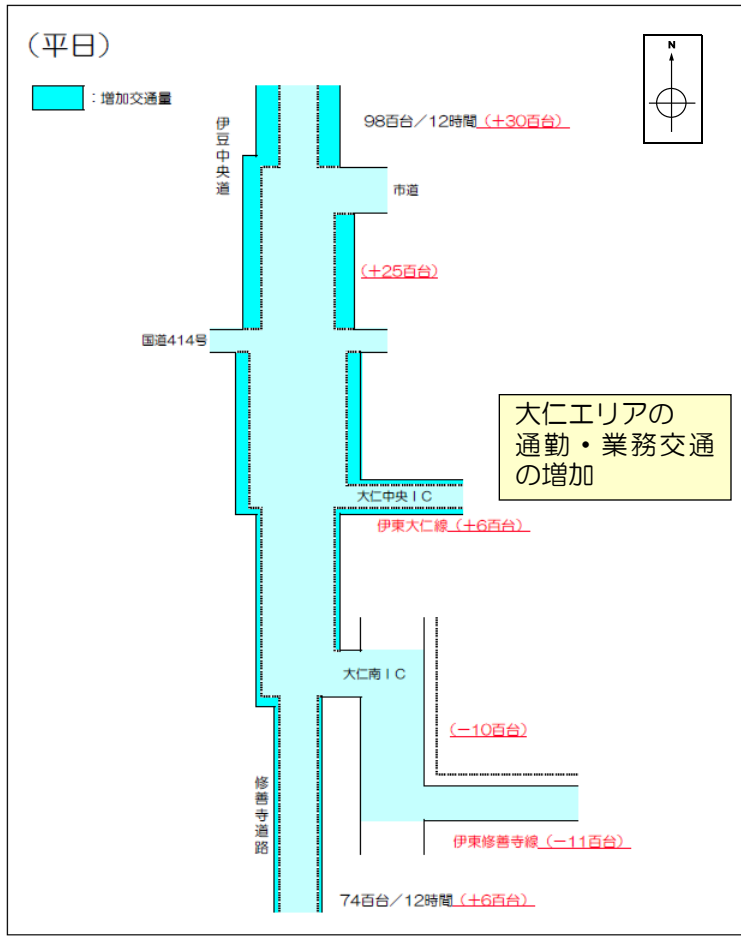
修善寺道路 回数券利用状況 (4月~1月平均)



# 4. 周辺を含む交通状況

- 平日：伊豆中央道の交通量の伸びは、大仁エリアを起終点とする通勤・業務利用の増加によるものと推測される。
- 休日：伊豆中央道と修善寺道路の通行台数差が拡大したのは、伊豆中央道から県道伊東大仁線や伊東修善寺線を利用し、伊豆東海岸へアクセスする観光交通が増加したものと推測される。(両県道の交通量が増加)

■ 周辺道路の交通状況変化 (H25.11月とH26.11月の平均交通量比較) 7:00~19:00の12時間 [単位：百台]

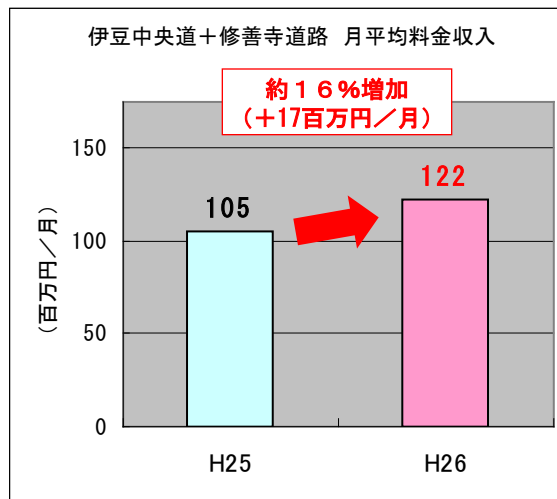
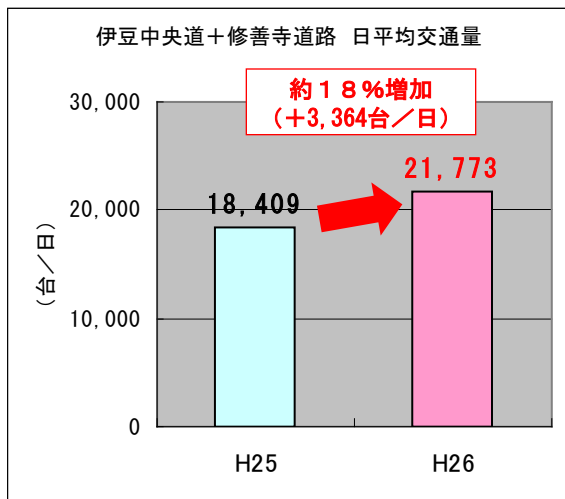


# 5. 料金収入状況

- 月あたり料金収入(両道路 計)は、平成25年度との比較で**約16%増加**。
- 交通量の伸びと料金収入の伸びは、ほぼ同じである。

## ■平成25年度実績との比較（4月～1月平均）

道路名 種別	伊豆中央道			修善寺道路			両道路 計		
	H26	H25 実績	比率	H26	H25 実績	比率	H26	H25 実績	比率
日交通量	12,105 台	9,247 台	1.31	9,668 台	9,162 台	1.06	21,773 台	18,409 台	1.18
月料金収入	71 百万円	55 百万円	1.28	51 百万円	50 百万円	1.02	122 百万円	105 百万円	1.16



# 6. 今後の取組

- 伊豆中央道と比較して伸び率が低い修善寺道路の交通量増加、料金収入増に向けて、**回数券販売場所拡大(沿線市役所、コンビニエンスストア等)**の調整を進めている。
- 江間地区の改築事業の早期推進を図る。

## ■回数券販売場所の拡大

[5割引回数券]



一部のコンビニエンスストア  
では、1月24日から販売開始



## ■江間地区の改築事業

